

高度成長期に設置された電気設備において、老朽化に伴うトラブル発生リスクが高まっています。また、近年設置された電気設備においても、これまでにないトラブル事例が見られます。

本講習会では、ユーザーが活用できる具体的なメンテナンスおよびトラブル対処方法など、現場で役立つ保安全管理技術について、専門家が分かりやすく解説します。

〈対象者〉

電気設備の保安全管理に従事されている方

電気設備の保全担当者は、保守やトラブル対応を的確かつ安全に対応する技術が要求されます。



【実施例】

内 容	備 考
○受電設備の保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・電気工作物について ・電気事業法の概要 ・電気工作物の保守基準 ・受電設備の保守・点検 ・電気事事故事例 	
○電気設備の事事故事例と巡視・点検 <ul style="list-style-type: none"> ・電気事故概要 ・波及事故について ・電気事事故事例 ・電気事故防止事例 	
○高圧遮断器の保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・遮断器の変遷と役割 ・機器の定格仕様比較 ・機器の特徴と保守のポイント ・障害事例とその対応 ・延命化と寿命到達・更新 ・これからの保全への提案 	
○変圧器の保守点検 <ul style="list-style-type: none"> ・変圧器の概要 ・保守点検の基本的な考え方 ・更新における考え方 ・絶縁油分析と保守管理 	

(注) 内容の一部が変更となる可能性があります。

※詳細は約3ヶ月前を目途にホームページ等でご案内いたします。

受付中の講習会はこちら⇒ <https://www.jea-chugoku.jp/kosyu/ichiran.php>